

My Home Photo Essay

東京都立川市

Wさんご家族

担当営業 神倉 はじめ 元



公園のように広い専用のお庭は、 孫10人の笑い声が響く遊園地。

Wさん 主人が立川駅前で40年間スナックを経営してたの——立川で二番目に古いんですよ。その間ずっと富士見町にある5LDKの一軒家で3人の子供を育てながら暮らしてね。この街の移り変わりを半世紀近く見てきたことになるわね。

神倉 私が生まれた頃からですね。

Wさん 子供たちも家庭を持ち、それぞれに独立したので、1年半前に主人と2人で暮らすために、お隣の昭島市にマンションを買ったの。でも半年も経たずに主人は病気で亡くなって——やっぱり慣れ親しんだ立川市に戻りたいなあ、と。

神倉 ここをご紹介したときのご決断の早さには正直驚きました。

Wさん 窓から見えた広い庭を見て「ああ、気持ちいいな」と思ったのね。直感で決めちゃうから、なんでも早い。3人の子供たちも近くに住んでいるから、10人いる孫たちが遊びに来ては大騒ぎ。この50畳ある庭は孫たちの遊園地なの（笑）。

神倉 ああ、木製ブランコや玩具の滑り台はお孫さんたちのために。

Wさん さみしいと思うときもあるけど、ホームタウンに戻ったことで心穏やかな毎日を過ごせてますよ。

